



芝樋ノ爪小だより

<https://shibahinotsume.edumap.jp>
川口市芝樋ノ爪 2-10-48 Tel.048-266-5265

学校だより
令和6年4月
川口市立芝樋ノ爪小学校
児童数：278名

「志」という名の礎の上に

校長 吉田 栄

幾度となく繰り返す芝樋ノ爪小を訪れる春。生き生きと躍動する春の息吹は、今年も変わることなく児童の新たなスタートを力いっぱい応援してくれているかのようです。4月「卯月」。令和6年度の晴れやかなスタートです。

満開の桜に囲まれ、長き歴史とすばらしき伝統を誇るこの芝樋ノ爪小学校に着任し、2年目を迎えることができましたこと、たいへんうれしく、そして光栄に思います。

今、先人たちの築いた教育の礎の上に立ち、その高き「志」を受け継ぎ発展させるという決意とともに新たな一步を踏み出す覚悟です。今、278名の芝樋ノ爪小の児童は、新しい学校、新しい学年に夢を大きく膨らませていることと思います。まさに夢と希望に満ちた春です。学校教育目標「心豊かな子」、目指す学校像「児童の自尊感情を高める学校」の実現に向け、全教職員一丸となって取り組んでまいり所存です。本年度も変わらぬご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

学校教育目標

「心豊かな子」

- 【知】進んで学ぶ子
- 【徳】思いやりのある子
- 【体】たくましい子

目指す学校像

「児童の自尊感情を高める学校」

夢をはぐくみ、児童のよさや可能性を引き出し伸ばす芝樋ノ爪小

校訓

「至誠（しせい）」

…至誠にして動かざるものは、未だ之れ有らざるなり 吉田松陰

本校は「至誠」をその校訓としています。「至誠」とは、「誠実に、そして精一杯の誠意を尽くす」という意味です。「孟子」の言葉に「至誠而不動者未之有也」があり、元々はこの言葉を松陰が座右の銘としたそうですが、松陰自身、その信念を貫き、人と接した人と言われています。

「至誠にして動かざるものは、未だ之れ有らざるなり」とは、「誠実に、そして精一杯の誠意をもって相手に接すれば、心を動かされない人はいない」…すなわち、「人の心を動かそうと思ったら、相手に対する真心をもち、誠実に、そして精一杯の誠意を尽くして人と接する」と解釈できます。

学校教育目標、目指す学校像と校訓「至誠」とを連動させながら、全教職員心を一つに、自分も相手も大切に育てる児童を育成してまいります。健康教育・安全教育を基盤とした知・徳・体の調和のとれた教育の推進と、「地域に根差した学校づくり」「地域とともに歩む学校づくり」に邁進してまいります。本年度も変わらぬご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。